

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス アネラ（児童発達支援）

公表日 令和8年6月15日

利用児童数 14

回収数 8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	75%	12.5%	12.5%	0%	・大人目線ではせまそう…と感じます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく 構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	62.5%	37.5%	0%	0%	・階段が急	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	75%	25%	0%	0%		
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	87.5%	12.5%	0%	0%		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	87.5%	12.5%	0%	0%		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	37.5%	25%	0%	37.5%		
保護 者へ の説 明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	37.5%	25%	25%	12.5%		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていていると思いますか。	62.5%	37.5%	0%	0%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	75%	12.5%	12.5%	0%	・相談支援員さんとはある。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	87.5%	12.5%	0%	0%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12.5%	50%	25%	12.5%		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	87.5%	12.5%	0%	0%		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	62.5%	12.5%	12.5%	12.5%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	62.5%	12.5%	0%	25%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	62.5%	0%	0%	37.5%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	50%	25%	0%	25%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	75%	12.5%	0%	12.5%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	87.5%	12.5%	0%	0%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	87.5%	12.5%	0%	0%		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年6月15日				
事業所名		公表日 令和8年6月15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	活動内容により1階と2階、個室で分けて行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	25%	75%	日々の利用児童数に応じた職員数を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	37.5%	62.5%		物品等の配置などまだまだ構造化が不十分なところがあり、改善を進めている。 2階への移動は階段のためバリアフリーとは言えない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	87.5%	12.5%	活動内容により1階と2階、個室で分けて行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個室は、通常はことば音楽療法のレッスン時に使用しているが、必要に応じて他の目的でも使用可能としている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	37.5%	62.5%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%		ハード面など内容によっては改善が難しいこともあるが、保護者様の意向を汲み取って業務の改善を図っていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	62.5%	37.5%	職員間で情報を共有し、意見交換を行うようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	75%	25%	法人内での研修内容を事業所内でも共有するようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	75%	25%	事業所が提供する支援内容をホームページ上で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	75%	25%		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	50%	50%		児童発達支援管理責任者だけで作成しているわけではないが、支援に関わる職員の共通理解で作成できているとも言えない。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	37.5%	62.5%		支援計画等は各個人ファイルで共有できるものの、全職員が把握できているとは言えない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%	日々の観察において、こどもの行動の様子などでインフォーマルに把握した場合でも職員間で共有を図っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	62.5%	37.5%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%	職員間で話し合いの上、毎月ごとの活動プログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	曜日固定で利用する児童に配慮して、曜日で固定しないプログラムを行っている。また、季節の行事なども必ず取り入れるようにしている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせる支援するように配慮している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	37.5%	62.5%		職員が一堂に会する時間が取れないため、その日の内容等の確認が必ずできているとは言えない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	37.5%	62.5%		振り返りは主に翌日に行うことが多いが、その内容が全職員に共有できているとは言えない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	50%	50%		日々の支援に関する記録について、徹底できているとは言えない。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	62.5%	37.5%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0%	100%		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%		依頼のある保育所や園等との間では、支援内容等の情報共有を図っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%		就学時移行の際も、依頼のある小学校等との間では、支援内容等の情報共有を図っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	0%	100%		現状は連携を図っていることはないが、必要に応じて助言等を受ける機会を設けることも検討していきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%		同世代のこどもを持つ職員がいて、その子が遊びに来ていっしょに活動することがある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	62.5%	37.5%	利用時の連絡帳や送迎時に保護者に伝えるようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%		現状では家族支援プログラム等は行っていないが、今後要望等があるようなら検討していきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	75%	25%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	75%	25%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	62.5%	37.5%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	62.5%	37.5%	相談等があった際には、面談等を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		保護者会等は開催していないが、今後開催の要望等があるようなら検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	75%	25%	相談等があった際には、適切に対応するようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	50%	50%		SNS等での情報発信はまだ十分とは言えない現状なので、今後積極的に活用を図っていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	50%	50%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%	ハロウィン行事で地域住民に協力していただいたり、最寄りの商店街に買い物体験での対応などを依頼し、地域との連携を図るようにしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	定期的に訓練のプログラムを実施している。	各マニュアルは策定しているが、保護者には周知できていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的に訓練のプログラムを実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	87.5%	12.5%		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	保護者の指示に基づいて対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	25%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	25%	75%		ヒヤリハット事例が必ず報告されている現状ではないため、今後は積極的に記録するようしていきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	75%	25%	虐待防止の研修は定期的を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス アネラ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年3月2日 ～ 令和8年4月4日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和8年3月2日 ～ 令和8年3月21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年6月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ことば音楽療法士が在籍し、年齢・個人差など柔軟に対応できる教材やプログラムで、発語・学習能力を育てる音楽療法を行っている。	発語を促すこと、及び言葉をたくさん獲得することに重点を置きレッスンをしている。ピアノ、ギター、タンバリンなど多様な楽器を使い、利用者が楽しんでレッスンを受けるように工夫している。また、絵本の読み聞かせを行い、沢山の言葉に触れあうようにしている。	グルーブレッスンを行うことにより、コミュニケーション能力をつけるようにしていく。 教材を工夫して認知能力、非認知能力の向上に努める。
2	上級障がい者（パラ）スポーツ指導員が在籍し、動きづくりや身体を使い方を養うメニューを中心に運動療育を行っている。	（運動療育だけのことではないが）日々の活動プログラムは、曜日固定で利用する児童に配慮して、曜日を固定しないように計画して行っている。運動療育を多くの利用児童に取り入れている。	活動スペースは決して恵まれた広さとは言えないが、活動内容によって1階と2階で分けて行っている。また、子どもの状況に応じて、個別で対応していく。
3	事業所内にキッチンがあり、日々のおやつ、夏休みなど長期休み中の昼食を手作りで提供している。	アレルギーのある子供への対応はもちろんのこと、子供たちそれぞれの好き嫌いなどを把握した上で、提供するようにしている。時には子供たちみんなで調理を楽しみ、食の大切さを学んでもらっている。	特に長期休みの場合、毎日の提供になるので飽きのこないような献立を工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ハード面での課題ではあるが、事業所内の支援・活動スペースは決して恵まれた広さとは言えない。	室内の整理が不十分で、有効なスペースを確保できていない。	1階と2階で有効な支援・活動スペースのさらなる確保に向けて、物品等の配置換え等を行っていく。
2	物品等の配置などまだまだ構造化が不十分なところがある。	物品等の整理が不十分で、子供たちに分かりやすい環境として整っていない。	視覚支援などで構造化を図り、子供たちに分かりやすい環境作りを進めていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス アネラ（放課後等デイサービス）
------	----------------------------

公表日 令和8年6月15日

利用児童数 11

回収数 8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	50%	37.5%	0%	12.5%		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	62.5%	25%	0%	12.5%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく 構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	62.5%	25%	12.5%	0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	62.5%	25%	0%	12.5%		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	75%	12.5%	12.5%	0%		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	87.5%	0%	12.5%	0%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	75%	12.5%	12.5%	0%		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	75%	12.5%	0%	12.5%		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	75%	12.5%	0%	12.5%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	75%	12.5%	0%	12.5%		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	50%	0%	37.5%	12.5%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	87.5%	0%	0%	12.5%		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	62.5%	0%	12.5%	25%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	50%	25%	12.5%	12.5%		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	75%	12.5%	12.5%	0%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	75%	25%	0%	0%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	75%	12.5%	0%	12.5%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12.5%	12.5%	37.5%	37.5%		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	62.5%	12.5%	0%	25%		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	75%	0%	12.5%	12.5%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	50%	25%	0%	25%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	87.5%	0%	0%	12.5%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	75%	12.5%	0%	12.5%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	87.5%	0%	0%	12.5%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	62.5%	12.5%	0%	25%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	62.5%	0%	12.5%	25%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	75%	12.5%	12.5%	0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	75%	12.5%	0%	12.5%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	75%	0%	0%	25%		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス アネラ（放課後等ディサービス）				
公表日 令和8年6月15日						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	活動内容により1階と2階、個室で分けて行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	25%	75%	日々の利用児童数に応じた職員数を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく 構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	37.5%	62.5%		物品等の配置などまだまだ構造化が不十分なところがあり、改善を進めている。 2階への移動は階段のためバリアフリーとは言えない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	87.5%	12.5%	活動内容により1階と2階、個室で分けて行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個室は、通常はことば音楽療法のレッスン時に使用しているが、必要に応じて他の目的でも使用可能としている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	37.5%	62.5%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%		ハード面など内容によっては改善が難しいこともあるが、保護者様の意向を汲み取って業務の改善を図っていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	62.5%	37.5%	職員間で情報を共有し、意見交換を行うようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	75%	25%	法人内での研修内容を事業所内でも共有するようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	75%	25%	事業所が提供する支援内容をホームページ上で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	75%	25%		
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	50%	50%		児童発達支援管理責任者だけで作成しているわけではないが、支援に関わる職員の共通理解で作成できているとも言えない。
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	37.5%	62.5%		支援計画等は各個人ファイルで共有できるものの、全職員が把握できているとは言えない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%	日々の観察において、こどもの行動の様子などでインフォーマルに把握した場合でも職員間で共有を図っている。	
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	62.5%	37.5%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%	職員間で話し合いの上、毎月ごとの活動プログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	曜日固定で利用する児童に配慮して、曜日で固定しないプログラムを行っている。また、季節の行事なども必ず取り入れるようにしている。	

イ	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせ支援するように配慮している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	37.5%	62.5%		職員が一堂に会する時間が取れないため、その日の内容等の確認が必ずできているとは言えない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	37.5%	62.5%		振り返りは主に翌日に行うことが多いが、その内容が全職員に共有できているとは言えない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	50%	50%		日々の支援に関する記録について、徹底できているとは言えない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	62.5%	37.5%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	75%	25%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	75%	25%	日頃からこどもたちに自己選択できるような支援を心がけている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0%	100%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	75%	25%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%		就学時移行の際も、依頼のある小学校等との間では、支援内容等の情報共有を図っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%		学校を卒業する児童の利用はない現状である。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0%	100%		現状は連携を図っていることはないが、必要に応じて助言等を受ける機会を設けることも検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%		同世代のこどもを持つ職員がいて、その子が遊びに来ていっしょに活動することがある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	62.5%	37.5%	利用時の連絡帳や送迎時に保護者に伝えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%		現状では家族支援プログラム等はないが、今後要望等があるようなら検討していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	75%	25%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	75%	25%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	62.5%	37.5%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	62.5%	37.5%	相談等があった際には、面談等を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		保護者会等は開催していないが、今後開催の要望等があるようなら検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	75%	25%	苦情等があった際には、適切に対応するようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	50%	50%		SNS等での情報発信はまだ十分とは言えない現状なので、今後積極的に活用を図っていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	50%	50%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%	ハロウィン行事で地域住民に協力していただいたり、最寄りの商店街に買い物体験での対応などを依頼し、地域との連携を図るようにしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	定期的に訓練のプログラムを実施している。	各マニュアルは策定しているが、保護者には周知できていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的に訓練のプログラムを実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	87.5%	12.5%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	保護者の指示に基づいて対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	25%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	25%	75%		ヒヤリハット事例が必ず報告されている現状ではないため、今後は積極的に記録するようにしていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	75%	25%	虐待防止の研修は定期的に実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス アネラ（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和8年3月2日		～	令和8年4月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和8年3月2日		～	令和8年3月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年6月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ことば音楽療法士が在籍し、年齢・個人差など柔軟に対応できる教材やプログラムで、発語・学習能力を育てる音楽療法を行っている。	発語を促すこと、及び言葉をたくさん獲得することに重点を置きレッスンをしている。ピアノ、ギター、タンバリンなど多様な楽器を使い、利用者が楽しんでレッスンを受けるように工夫している。また、絵本の読み聞かせを行い、沢山の言葉に触れあうようにしている。	グループレッスンを行うことにより、コミュニケーション能力をつけるようにしていく。 教材を工夫して認知能力、非認知能力の向上に努める。
2	上級障がい者（バラ）スポーツ指導員が在籍し、動きづくりや身体を使い方を養うメニューを中心に運動療育を行っている。	（運動療育だけのことではないが）日々の活動プログラムは、曜日固定で利用する児童に配慮して、曜日を固定しないように計画して行っている。運動療育を多くの利用児童に取り入れている。	活動スペースは決して恵まれた広さとは言えないが、活動内容によって1階と2階で分けて行っている。また、子どもの状況に応じて、個別で対応していく。
3	事業所内にキッチンがあり、日々のおやつ、夏休みなど長期休み中の昼食を手作りで提供している。	アレルギーのある子供への対応はもちろんのこと、子供たちそれぞれの好き嫌いなどを把握した上で、提供するようにしている。時には子供たちみんなで調理を楽しみ、食の大切さを学んでもらっている。	特に長期休みの場合、毎日の提供になるので飽きのこないような献立を工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ハード面での課題ではあるが、事業所内の支援・活動スペースは決して恵まれた広さとは言えない。	室内の整理が不十分で、有効なスペースを確保できていない。	1階と2階で有効な支援・活動スペースのさらなる確保に向けて、物品等の配置換え等を行っていく。
2	物品等の配置などまだまだ構造化が不十分なところがある。	物品等の整理が不十分で、子供たちに分かりやすい環境として整っていない。	視覚支援などで構造化を図り、子供たちに分かりやすい環境作りを進めていく。
3			